

五泉進路だより

シャインウィズユテ

進路だより 第2号

令和2年1月20日発行

県立五泉特別支援学校

進路指導部



進路選択に向けて

いよいよ中学部、高等部の3年生は、次のステージに向けての準備を始めていく学期が始まりました。

高等部では、実習を重ねた3年生が社会人として自立するため、進路を決定していきますがここまで、この進路はこの子にあっていのだろうかと悩んだご家庭もあったと思います。

進路選択にあたり悩むのは当然だと思いますが、時間は待ってくれず選択をしていかなければなりません。これから進路を考える時にご家族でお話していただきたいことは、「優先順位」です。通勤や通所の距離、賃金や工賃、仕事、次のステップに進むことができるのか、一緒に働く人、支援の方法等、それぞれの企業・事業所で異なります。

すべての条件でベストが理想的ですが、それを叶えることは非常に難しいのが現状です。ある程度妥協する条件もあると考えますが、逆にここだけは妥協できない条件を決めること、希望する条件を絞っていき優先順位を付けることが方向性を定め、進路を選択していく近道になると考えます。

右側には相談・連携機関を記載しました。相談をするときに、方向性が定まっているとより具体的に話が進みやすいです。学期始め、個別懇談の後、進級時、実習前後など話をしやすいタイミングだと思いますので、ぜひご家庭でも話題にされてください。

相談機関と連携

地域の相談支援事業所

- ・福祉サービスを利用している人は、担当相談員さんがついています。担当相談員さんのいる相談支援事業所を利用します。

いずみの里、あさひの家、え〜る、
ふなおか、縁、たんぼぼ など

ハローワーク新津

- ・五泉市、阿賀町の就職に関する窓口です。企業への就労を目指す際、就職相談や求職登録などの手続きを行います。

居住地役所の健康福祉課

- ・五泉市、阿賀町、新潟市の各区にそれぞれ窓口があります。福祉サービスや年金の手続きなどで利用します。阿賀町は基幹相談支援センター的役割もあります

障がい者就業・生活支援センターらいふあっぷ

- ・学校卒業後、仕事や生活の面で必要に応じてサポートをしてくれます。企業へ就職する人は、高等部卒業前に、利用登録をします。

五泉市障がい者基幹相談支援センター

- ・初めて相談をする人、担当相談員さんが決まっていない人などは、五泉市の障がいに関する相談窓口として利用できます。

各機関の利用について

在学中は、学校を通して利用の手続きを行います。学校卒業後、必要に応じて、個人で利用する機会があるかと思います。各機関について、ぜひ知っておいてください。

PTAと進路の連携

進路関係の書類を関係機関とやり取りします。職場実習に関わる依頼文、覚書、要項、お礼状、進路に関わる事業所や企業、行政機関への連絡、報告、お知らせの文書など、メールも使いますがやはり大切な文書は郵送です。

大切な文書が埋もれないよう際立たせてくれるのが、この五泉特別支援学校10周年記念シールです。PTA役員の方が作成されたものをいただきましたが、封筒に貼ると目立ちます。打合せて担当者の方がこちらの送った書類を持参されるとき、封筒も一緒に保管していただいていた、「10周年なんですね」と話題になることもありました。

多くの保護者の方々が多くの児童・生徒と関わっていただくと、そこやその周りにいろいろな繋がりができます。思わぬところから進路の関わる情報をいただくこともあります。進路の選択肢を増やし、可能性を広げるため今年もご協力、ご支援をお願いいたします。



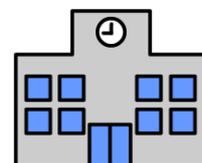
ご不明な点は、いつでもお問い合わせください。

県立五泉特別支援学校

TEL 0250-43-4370

FAX 0250-43-1980

担当 進路指導部 阿部



裏面に資料を掲載しました。こちらも併せてご覧ください。

